

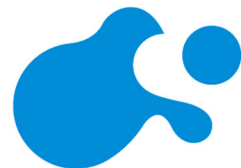
タカラスタンダード株式会社

2023年3月期 第2四半期

決算説明資料

2022年11月1日

証券コード
7981



Takara standard
Change! 110th

タカラスタンダードは
2022年5月30日に
110周年を迎えました

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要 P. 1 ~ 11
2. トピックス P. 12 ~ 22

売上高は過去最高を更新、新築・リフォームともに好調 売上高・利益とも業績予想を上回った

【売上高】 1,100億円 前期比 8.4%増 業績予想比 +5.2%

大都市圏を中心に営業力強化の効果もあり、新築向け、リフォーム向けとも好調に推移し過去最高の売上高となった。

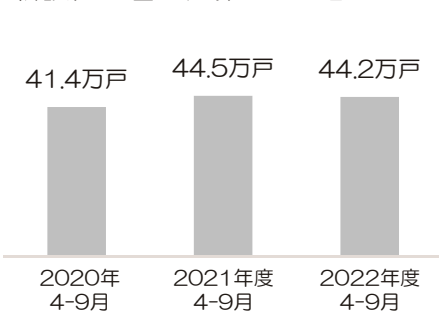
【営業利益】 60億円 前期比 21.1%減 業績予想比 +6.8%

【四半期純利益】 41億円 前期比 23.5%減 業績予想比 +9.2%

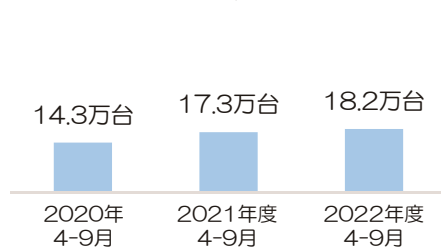
資材価格の高騰やエネルギー価格の上昇により減益となるも、比較的利益率の高いリフォーム向けが伸び、また経費抑制の取組みが効果をあげ業績予想を上回った。

業界の動向

新設住宅着工戸数(国土交通省)

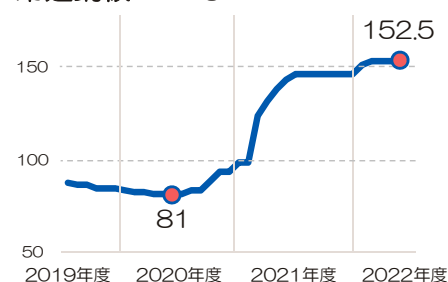


リフォーム市場でのキッチン出荷台数(キッチン・バス工業会)



主な資材の市況

冷延鋼板 (円/kg)



ナフサ (円/kl)



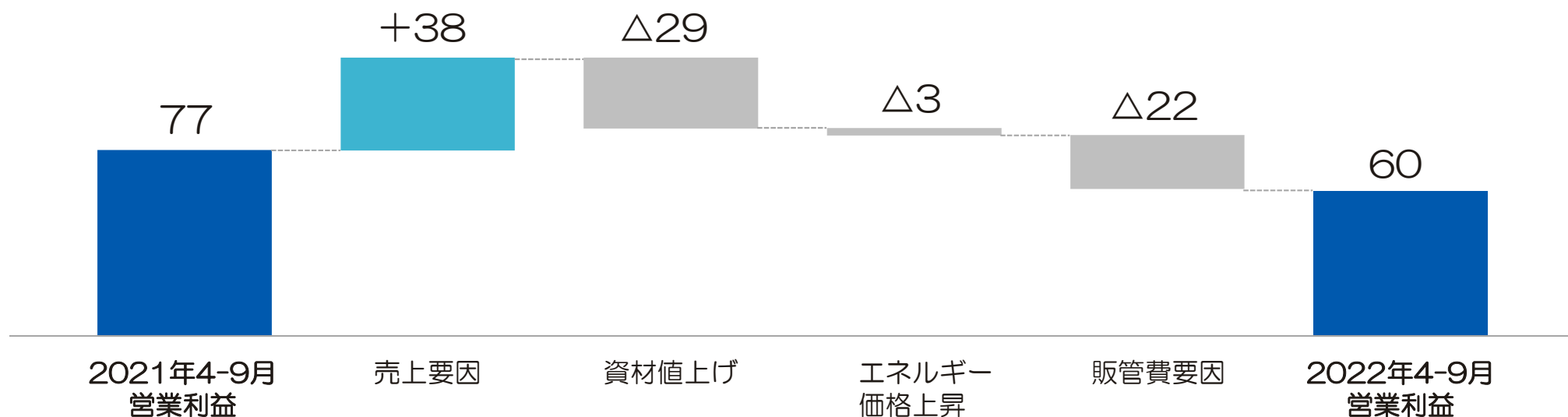
(単位：億円)

	2021年4-9月		2022年4-9月				2022年4-9月 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	業績予想比
売上高	1,016	100.0%	1,100	100.0%	+84	+8.4%	1,047	+5.2%
売上総利益	371	36.6%	377	34.3%	+5	+1.5%	—	—
販売費及び 一般管理費	294	29.0%	316	28.8%	+22	+7.5%	—	—
営業利益	77	7.6%	60	5.5%	△16	△21.1%	57	+6.8%
経常利益	79	7.9%	63	5.8%	△15	△19.9%	59	+8.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	54	5.3%	41	3.8%	△12	△23.5%	38	+9.2%

営業利益の増減要因

Takara standard

(単位：億円)

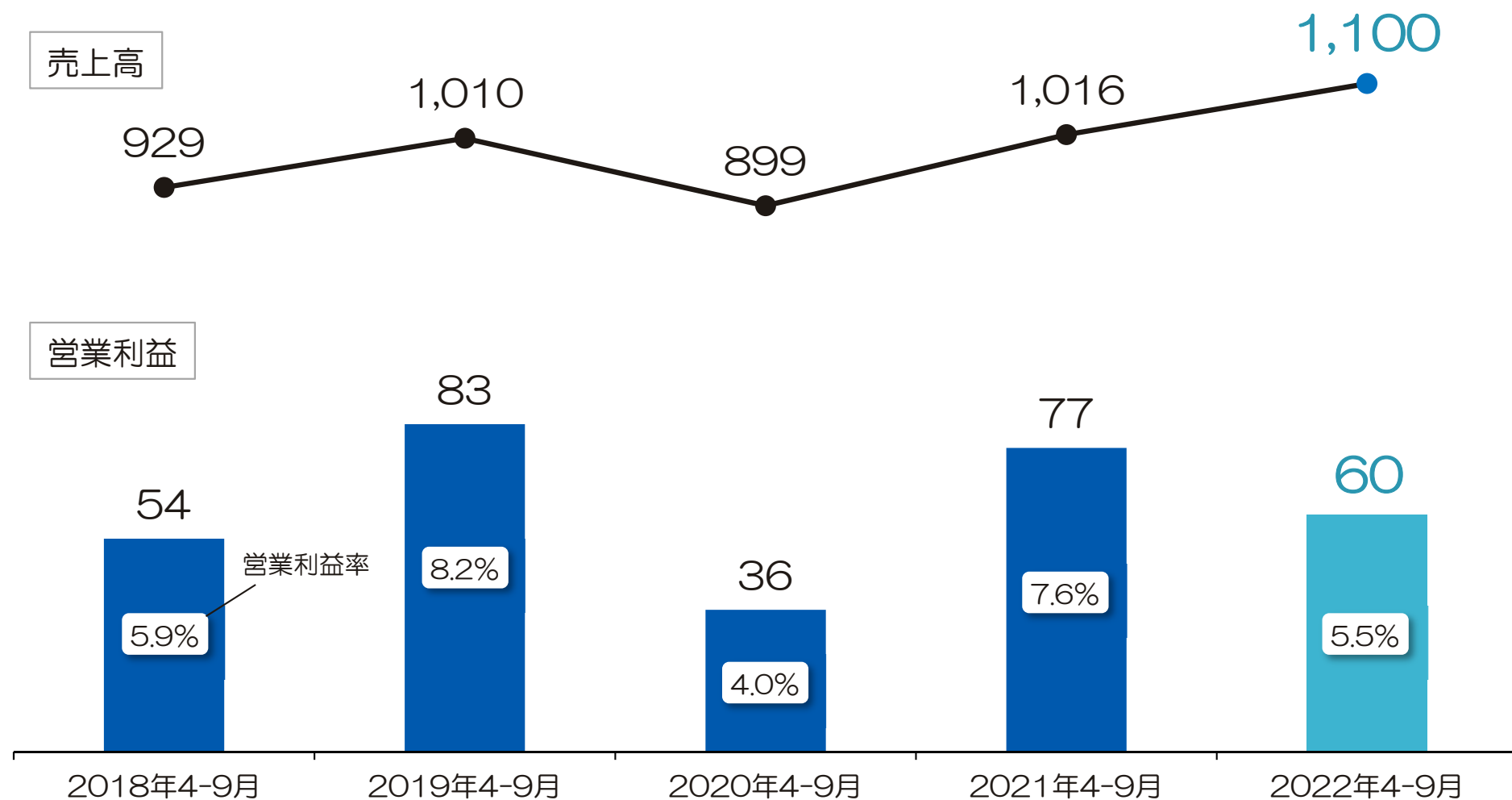


売上要因	比較的利益率の高いリフォーム向け売上が好調に推移し、なかでも中高級シリーズの拡販が進んだ。また、新築向け売上也好調に推移した。
資材値上げ	主要な資材である鋼板、ステンレス、樹脂原料などの市況の高騰が続いており、大幅なコストアップとなった。
エネルギー価格上昇	製造工程や事業所で使用するガス、電力の価格上昇によりコストアップとなった。
販管費要因	売上の増加に伴い物流費を中心に増加したが、経費抑制の取組みにより販管費率は低下した。(前期 29.0% → 当期 28.8%)

売上高 及び 営業利益の推移

Takara standard

(単位：億円)



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2020年4-9月は遡って適用した数値となっておりますが、2019年4-9月以前の各数値は遡及適用しておりません。

キッチン部門、洗面化粧台部門では中高級シリーズを中心に前年を上回り、浴室部門では中級シリーズの拡販に加え、新築マンション向けシステムバスも出荷台数を伸ばすなど、主要3部門とも好調に推移。

(単位：億円)

	2021年4-9月		2022年4-9月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	610	60.1%	658	59.8%	+47	+7.8%
浴室	237	23.4%	262	23.8%	+24	+10.3%
洗面化粧台	111	11.0%	123	11.2%	+12	+10.9%
その他共計	1,016	100.0%	1,100	100.0%	+84	+8.4%

台数増減率	
当社	キッチン・バス工業会(※)
+5.4%	+3.5%
+10.0%	+1.9%
+5.1%	△1.0%

※キッチンバス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の対前年増減率を記載

【内数】

パネル関連売上	28	2.8%	31	2.9%	+3	+10.6%
海外事業売上	5	0.5%	6	0.6%	+1	+26.4%

新築、リフォームともに好調に推移し、新築は戸建住宅向けの拡販により+9.1%、リフォームは都市部を中心に売上を伸ばし+7.4%となった。

(単位：億円)

	2021年4-9月		2022年4-9月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新築	611	60.2%	667	60.6%	+55	+9.1%
リフォーム	354	34.9%	381	34.6%	+26	+7.4%
その他共計	1,016	100.0%	1,100	100.0%	+84	+8.4%

2022年9月末の総資産は 2,781億円、前期末比 13億円の増加。

(単位：億円)

		2022年 3月末	2022年 9月末	増減	主な要因
資産	流動資産	1,704	1,716	+11	現金及び預金 $\Delta 95$ 売上債権 +58 棚卸資産 +37
	固定資産	1,063	1,065	+1	
資産合計		2,768	2,781	+13	
負債	流動負債	735	757	+21	仕入債務 +50 短期借入金 $\Delta 16$
	固定負債	218	216	$\Delta 1$	
負債合計		954	974	+19	
純資産合計		1,814	1,807	$\Delta 6$	利益剰余金 +17 自己株式 $\Delta 28$
負債純資産合計		2,768	2,781	+13	

キャッシュ・フローの状況

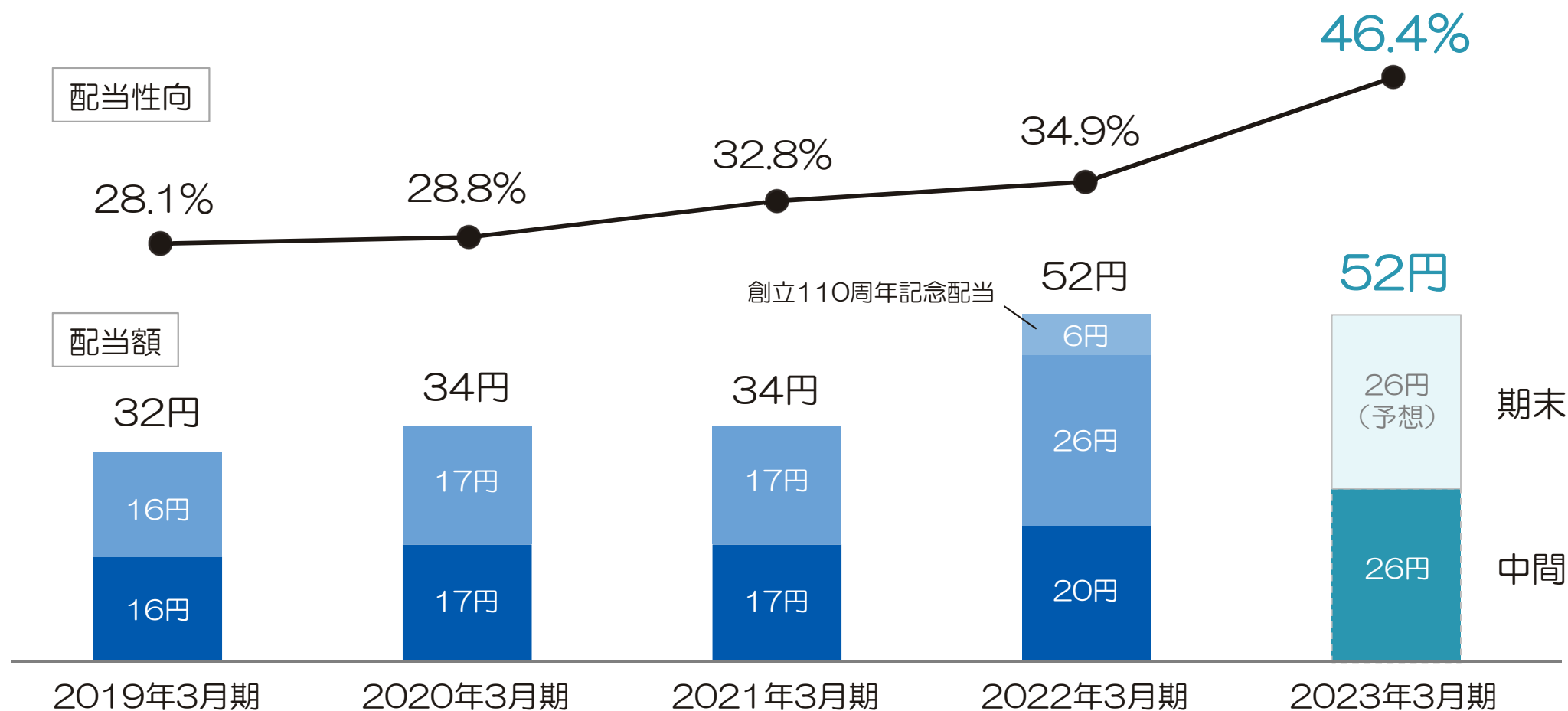
現金及び現金同等物の四半期残高は、有形固定資産の取得や、自己株式の取得および配当金の支払などにより期首に比べ 95億円減少し、790億円となった。

(単位：億円)

	2021年 4-9月	2022年 4-9月	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	747	886	
営業活動によるキャッシュ・フロー	77	7	税金等調整前四半期純利益 60 売上債権・棚卸資産・仕入債務の増加 $\Delta 42$ 法人税等の支払 $\Delta 24$
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta 27$	$\Delta 34$	有形固定資産の取得による支出 $\Delta 40$ 有形固定資産の売却による収入 7
フリーキャッシュ・フロー	49	$\Delta 27$	
財務活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta 12$	$\Delta 68$	自己株式の取得による支出 $\Delta 28$ 配当金の支払 $\Delta 23$
現金及び現金同等物の四半期残高	784	790	

配当の状況

2023年3月期の中間配当は26円、期末配当26円と合わせ年間52円を予定。(配当性向46.4%)
なお、当第2四半期において自己株式取得28億円を実施。(総還元性向80.0%)



第2四半期累計期間は当初予想を上回ったものの、資材価格の高騰やエネルギー価格の上昇など足元の事業環境は未だ不透明な状況が続いているため、通期予想は期初公表通り。

(単位：億円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減	増減率
売上高	2,115	2,176	+60	+2.8%
営業利益	144	123	△21	△14.8%
営業利益率	6.8%	5.7%	△1.1P	—
経常利益	148	127	△21	△14.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	109	82	△27	△24.8%

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要 P. 1 ~ 11

2. トピックス P. 12 ~ 22

システムバス「グランSPA」新発売

Takara standard

デザインや素材、オプション機能などを幅広い選択肢の中からお選びいただける中高級シリーズのシステムバス「グランSPA」を2022年8月29日に新発売。



シリーズコンセプト

“毎日をちょっと特別に。家族みんなでおうちスパ。”

多様化するニーズにお応えして、浴槽や洗い場、カラー天井などの組み合わせを自由に選べるほか、機能商品のオプションを多数ご用意。暮らしに合わせた理想の浴室空間をカスタマイズいただけます。



入浴時間を快適にする
リラックス機能「肩包み湯」



スイッチひとつでお風呂掃除
「オートウォッシュ」

独自のホーローへのインクジェット印刷技術で、これまでになかったマット仕上げの扉柄を開発。また、光沢仕上げの大判大理石柄など豊富なラインアップで高級感あふれる空間を演出。

ホーローシステムキッチン「レミュー」



「灰緑」(はいみどり)



「白磁」(はくじ)

ホーロー洗面化粧台「エリーナ」



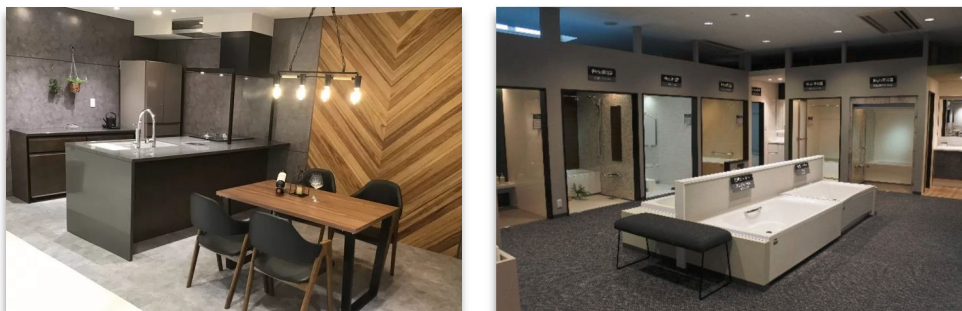
「マルキーナブラック」



「コンクリートダーク」

業界唯一のマンションリフォーム特化型拠点

東京MRe.墨田ショールーム



首都圏におけるマンションリフォームの主要拠点として、施工事例を設置し、全面リニューアル。

ショールームの2階には、リフォーム前の現場調査方法や納まり知識を習得できる得意先様向けの研修施設を新設。



左：浴室現場の構造を分かりやすく再現
右：梁を想定したキッチンの施工例

施工力増強に向けたエンジニア育成拠点

横浜トレーニングベース



今後さらに拡大が見込まれるリフォーム需要に対応するため、施工力増強・確保に向けて、エンジニア育成拠点を新設。



製品の組立など現場で行う加工を一から実体験できる研修や、商品設置前に現場で行う納まりの確認などを学ぶことができる。

充実したWEBコンテンツ。

360°見渡せる
バーチャルショールーム



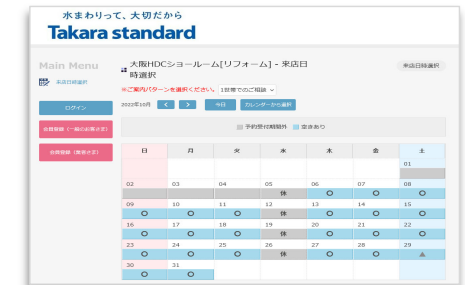
ショールーム
展示品情報



VR機能を搭載した
カラーシミュレーション



WEB予約システム

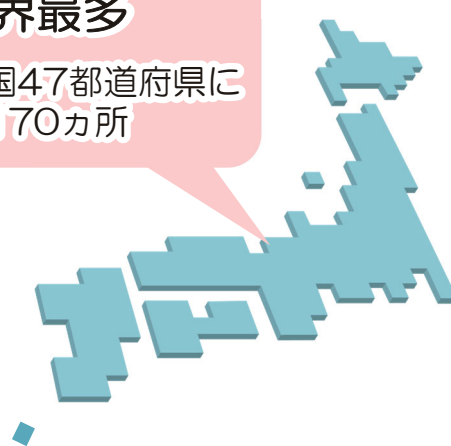


WEB活用によりショールームへの来場を促進

お客様が商品を「見て、触れて、納得」いただける地域密着型のショールームを展開。

業界最多

全国47都道府県に
約170カ所



当期のリニューアル例



広島県 福山ショールーム
(2022年9月)



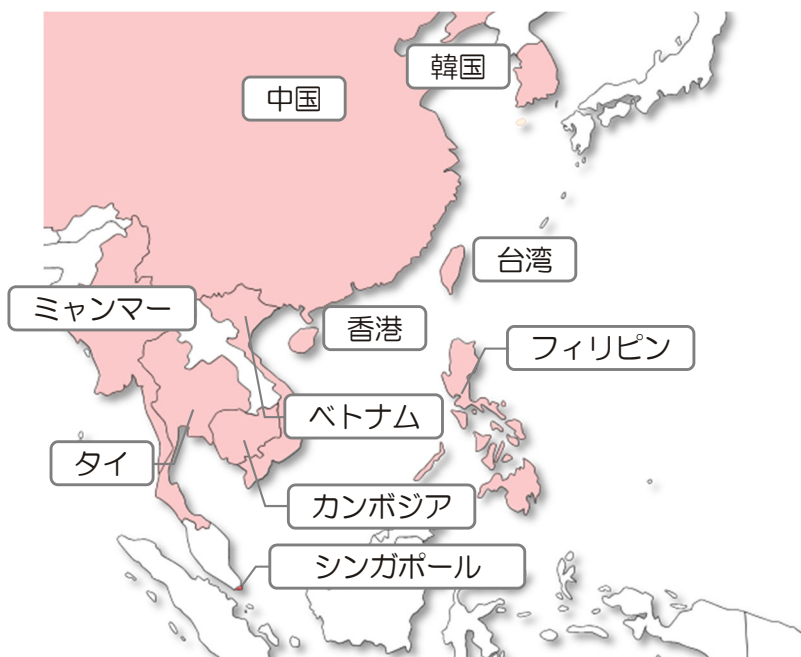
群馬県 太田ショールーム
(2022年9月)

当社の高品位ホーローは、高温多湿なアジアで高い評価を得て順調に売上を伸ばしています。今後もより一層の売上拡大を目指し、海外でのさらなる取組み強化を図ってまいります。

取組み施策

- 販売拠点の展開とサプライチェーンの構築
- 海外向け商品の開発
- マンションなど大型物件への取組み強化

10年以内に海外売上高100億円水準を目指す



各国で販売代理店網の拡大を推進

納入事例

マンションや賃貸住宅などの大型物件に、ホーロー製のキッチンやホーロー浴室パネルを備えたシステムバスを納入



海外での認知度向上のため、現地の展示会に出展



ベトナム最大級の建築系展示会
「ベトビルド」



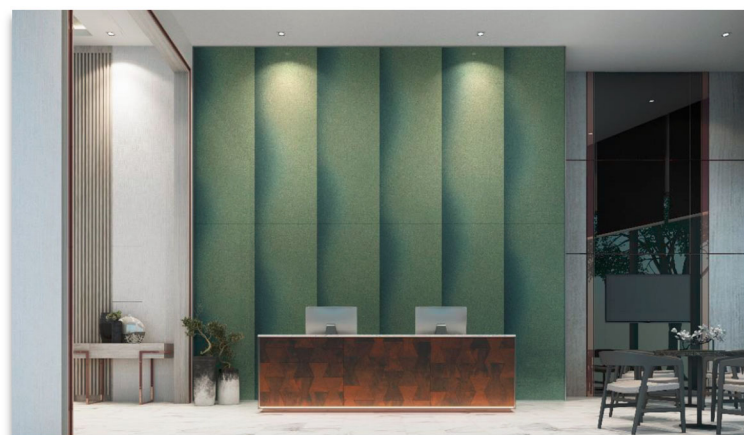
台湾の大型展示会
「台北ビルディングショー」

オフィスや商業施設などのパブリックスペースに最適な内装材「エマウォール インテリアタイプ」に抗菌・抗ウイルス仕様を発売。



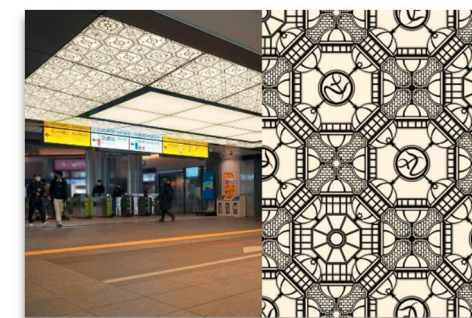
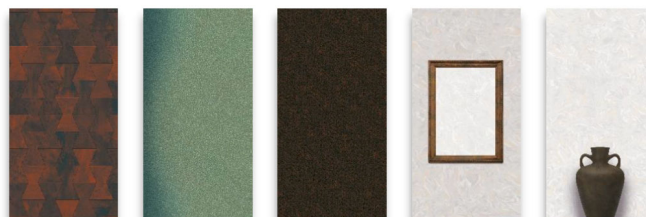
新型コロナウイルス感染症拡大以降、多くの人が集まるパブリックスペースにおいて、抗ウイルス・抗菌製品を求める声が多くなったことを受け、[抗菌・抗ウイルス仕様]をラインアップ。

東京駅の光天井模様などを手掛けたグラフィックデザイナー近藤順さん（株式会社シャラクシー）をデザイナーに起用し、同氏デザインの新柄を発売。



designed by **CYALAXY**

光と影を表現したグラデーションが奥行きを感じさせる柄など、高級感のある5種類の柄をラインアップ。



(近藤さんがデザインした東京駅北通路丸の内側光天井の模様グラフィックデザイン「歴史・品格」)

ESGの取組みを通じて、中長期的な企業価値の向上を目指します

E（環境）

- 当社の独自素材「高品位ホーロー」はサステナブル素材
- タカラ環境方針の策定
- 2030年度 CO2排出量削減目標 [2020年度比30%削減] の設定
- CO2排出量を削減する「ホワイト物流」への賛同
- 梱包資源削減と廃棄物軽減で環境を守る
- 社屋に太陽光設備を設置し、環境と省エネルギーに配慮

S（社会）

- 様々な子育てサポートで女性が活躍できる環境づくり
- 従業員が健康で健やかに働ける「健康経営」の推進
- 場所や時間にとらわれない柔軟な働き方の推進
- こども食堂への寄付（食の支援を通して、社会に貢献）
- 子どもたちの想いを育てる「こころの劇場」協賛
- フルブライト奨学金制度に協賛
- アーティスト支援による社会貢献活動を目的とした「ホーロー×アートプロジェクト」の推進

G（ガバナンス）

- プライム市場上場企業として、健全な企業経営につながるガバナンス体制の強化
- IR活動を通じて、幅広いステークホルダーとの建設的な対話を実施

当社が考えるSDGsをホームページで公開中。



当社は2022年5月30日に創業110周年を迎えました。
110周年を記念したさまざまな取り組みをご紹介します。

110周年記念ロゴを制定



大阪・関西万博の公式ロゴマークを考案した
アートディレクター／グラフィックデザイナー
シマダタモツさんによるデザイン

ショールームアドバイザーの 制服をリニューアル



デザイナー／アーティストの篠原ともえさん
による“水の流れ”をコンセプトにしたデザイン

土屋太鳳さんがナレーションを 担当する記念動画を公開



イメージキャラクターの皆さんや 社員の、こだわりの水まわりや理想 の水まわりをホームページで公開



共に誕生110年を迎えた通天閣 にエマウォールを寄贈

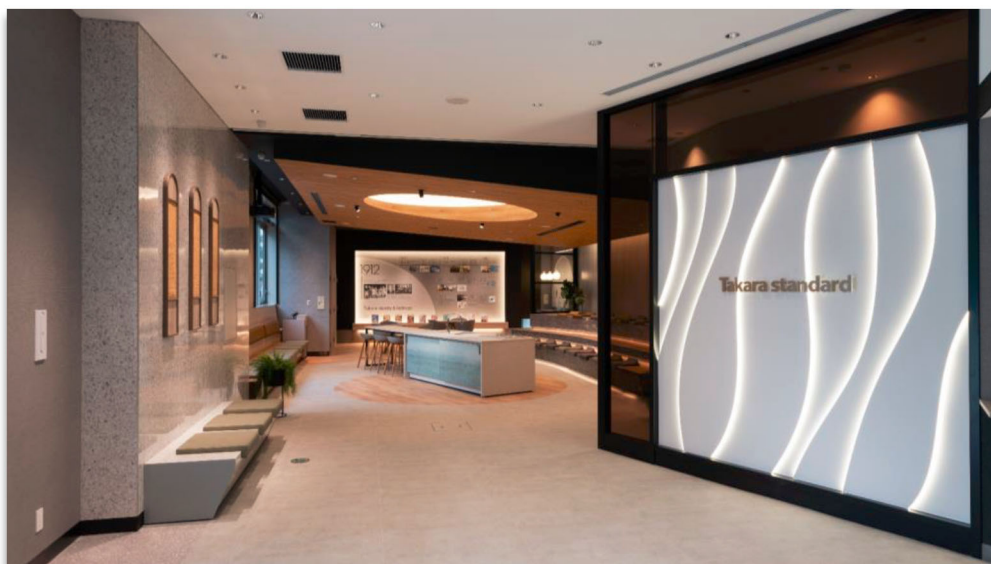


「よしもと住みます芸人」が ショールームを訪問する動画を公開



本社エントランスを「ホーローアートスクエア」としてリニューアル。

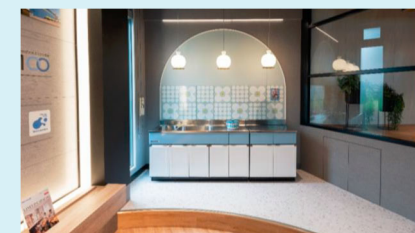
さまざまな用途でホーロー内外装材「エマウォール」を使用し、ご来社の皆さまに当社独自の「高品位ホーロー」のさらなる可能性を感じていただけるスペースに生まれ変わりました。



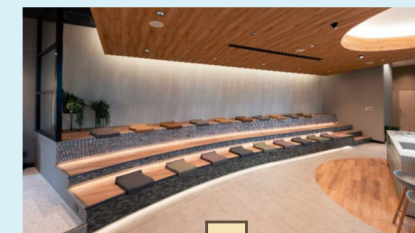
ホーローの特性を活かし、マグネットが付け外しできる年表



世界初のホーロー流し台「E型」展示

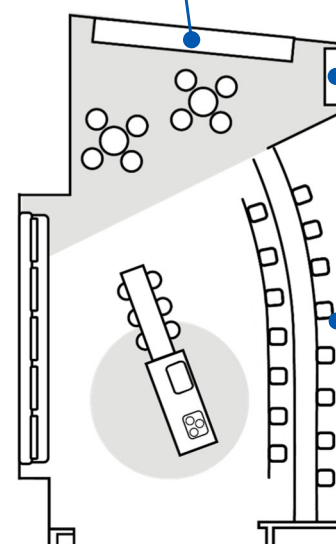


プロジェクションマッピングが可能なホーロー階段ベンチ



「ホーロー×アートプロジェクト」作品を展示

「ホーロー」の認知度と可能性をさらに高めるとともに、アーティスト支援による社会貢献活動を目的とした「ホーロー×アートプロジェクト」の第一弾として、現代美術作家／壁画アーティスト川田知志さんとコラボレーションした作品を期間限定で展示。



ホーローアートスクエア概略図

テレビCMのご紹介

Takara standard

土屋太鳳さんがCMキャラクターを務める当社の新CMを全国で放送。

新CMは、「**家族が、ぐっと、近くなる。**」がコンセプト。
ショールームアドバイザーとして4年目を迎えた土屋太鳳さんが、
当社創業110周年を機にリニューアルした新制服でお客様をお迎えします。

今回、土屋アドバイザーがお迎えするのは、北斗晶さん・佐々木健介さんご夫婦。
CM内では北斗さん、佐々木さんそれぞれの家族への想いが語られます。

北斗さん・佐々木さんご夫婦仲睦まじい様子と溢れる笑顔、それにつられて笑顔になる土屋さんの様子や、
夫婦の話を楽しそうに聞く、土屋さんの優しいまなざしにご注目ください。



※当社ホームページ（<https://www.takara-standard.co.jp/>）でもご覧いただけます。

＜ IRお問い合わせ先 ＞

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL

06 - 6962 -1502

E-mail

ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、2022年11月1日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。